

平成 30 年度 事業報告

平成 30 年度は、スポット的には、価格低迷があったものの、甚大な被害が生じた西日本豪雨、北海道における地震、全国的な（記録的）高温・干ばつの影響などにより、野菜を中心に、絶対量不足から相場が浮揚した。その結果、公益目的事業である青果物価格安定対策事業では、価格の低落のあった品目について、※交付算出額(43,687,453 円)のうち 11,868,693 円を補償交付金として交付した。

(※県単事業については、平成 23 年度第 5 回理事会（平成 23 年 12 月 15 日）決議に基づき、原子力損害賠償請求を行っている期間であることから、支払いを行わないものとしている。)

1. 事業概況

◆ ◇ ◆ 青果物の生育・販売環境（主な特徴） ◆ ◇ ◆

【果実】

品目等	販売環境
もも	猛暑・干ばつの影響による出荷の遅れと小玉の発生比率が例年以上に高く、不足感がある中での販売であった。
日本なし	果実全般で品薄感のある中、「なし」に対する安定した引き合いもあり、販売環境は悪くなかったものの、出荷後半でのイタミの発生があった。
ぶどう	各産地の高齢化や改植が進む中、黒系品種の減少により慢性的に不足感のある状況であった。「シャインマスカット」の末端需要は安定し堅調な販売であった。
りんご	入荷量への過敏な年ではなかったが、台風の影響によるキズ果・スレ果等の発生が多く、下位等級の出回りが多く販売での苦戦があった。

【野菜】

品目等	販売環境
アスパラガス	春芽：栃木産の増量、九州産も潤沢な出荷で全体量が多く推移した。 夏芽：高温・干ばつにより、露地作の出荷数量が伸びなかった。
きゅうり	期間と通じての天候不順による影響で、産地ごとのピークが分散され（ピーク期が極端な増量にならず）高値相場が長期化した。
トマト	不安定な天候による出荷量の不足が影響し、シーズンを通しての高値相場であった。
さやいんげん	6 月は比較的冷涼な気候で生育は順調に推移した。7 月に入り一転して、猛暑と干ばつとなり、花落ちが多発し出荷が伸びなかった。

【花き】

品目等	販売環境
花き全般	順調な生育が続き出荷が前進化するなどしたため、物日とのズレが生じた。更に秋の台風による生育の乱れもあり、品薄高値が発生した。

(1) 事業別交付金額

このような状況のもと、下表の補償発動内容となった。

単位：円

事業名	交付金支払額	(交付算出額)
県 単	0	(31,818,760)
特 定 野 菜	3,440,693	(3,440,693)
契約特定野菜	0	(0)
指 定 野 菜	8,428,000	(8,428,000)
計	11,868,693	(43,687,453)

補償交付金の交付を行うことにより、果実・野菜・菌茸・花き生産者の農業振興意欲を支えるとともに、会員や生産農家の負託に応えることができた。

(2) 主たる事業実施事項

①. 果樹経営支援対策事業（補助事業）

業務方法書の定めるところにより、事業実施者に対し補助金の交付（事業費：110,493,853円、補助金：58,919,608円）を行った。

②. 果樹未収益期間支援事業（補助事業）

業務方法書の定めるところにより、果樹経営支援対策事業にて「改植」を行った事業実施者に対し補助金の交付（事業費：143,473,660円、補助金：142,485,512円）を行った。

③. 受託事業（JA全農福島からの事務受託事業）

JA全農福島が行う、特定事業、指定事業に係る造成及び交付等の事務受託（受託料6,912,000円、事業費6,912,000円）を行った。

④. 受託事業（独立行政法人農畜産業振興機構からの業務受託事業）

機構が行う、野菜価格安定制度の普及促進に関すること等の業務受託（受託料871,336円、事業費871,336円）を行った。

⑤. その他

ア. 県果実生産出荷安定協議会への助成

公益財団法人中央果実協会の助成金（70,000円）を受けて、JA全農福島（県果実生産出荷安定協議会）に対し活動費に関する助成金（70,000円）を交付した。

イ. 「全国果樹技術・経営コンクール」への参加

（第20回）全国果樹技術・経営コンクールへ、有限会社あづま果樹園（福島市）、蓬田正信氏・由美子氏（桑折町）の推薦を行い、それぞれ、農林水産省生産局長賞、全国農業協同組合中央会会長賞を受賞した。

ウ. 「福島発のキュウリビズ愛情込めてキュウリ栽培大作戦」への後援

県内小学生を対象に「きゅうり」栽培を通して、生命の尊さや食材への感謝の気持ちを育むことを目的とする表彰事業への後援を行った。（当協会会長賞受賞小学校：福島市立三河台小学校）

エ. 「鍋奉行も納得 福鍋・満腹絶倒計画」への共催

本県産秋冬野菜をメイン食材とし、最優秀賞に輝いた「福鍋」を県内協力飲食店へ提供し、本県農産物の消費拡大を図ることを目的とする表彰事業への共催を行った。



Photo: 全国果樹技術・経営コンクール



Photo: キュウリ栽培大作戦



Photo: 福鍋 最優秀賞 ふわとろ鍋



Photo: 優秀賞 さわやか秋鍋



Photo: 優秀賞 福島うまいか鍋

青果物価格安定対策事業総括表

(単位：t、千本、円)

事業名	予約数量	補償限度額	交付金額
県単事業	45,193	2,460,033,360	(31,818,760)
特定野菜事業	6,932	659,271,330	3,440,693
契約特定野菜事業	0	0	0
指定野菜事業	35,210	2,589,054,000	8,428,000
計	87,335	5,708,358,690	11,868,693

(単位：円)

事業名	前期繰越額 ¹	納入・返戻 ²	(交付額)	(取崩額) ³	次期繰越額 ¹⁺²⁻³
県単	1,669,790,555	12,987,222	0	0	1,682,777,777
特定野菜	240,245,962	△6,917,399	3,440,693	3,440,693	229,887,870
契約特定野菜	397,157	0	0	0	397,157
指定野菜 ^(※)	258,996,109	1,601,891	8,428,000	1,692,500	258,905,500
計	2,169,429,783	7,671,714	11,868,693	5,133,193	2,171,968,304

※指定事業は機構が管理

生産基盤強化事業総括表

(単位：円)

事業メニュー	事業費	補助金
改植	8,555,670	8,404,956
小規模基盤	4,128,093	1,936,554
用水・かん水	48,097,101	23,766,863
条件不利園地廃園	0	0
特認事業	(防風柵)	18,980,070
	(防霜ファン)	27,814,536
	(新植)	2,918,383
	小計	49,712,989
未収益期間支援	143,473,660	142,485,512
計	253,967,513	201,405,120

次期繰越収支差額

(単位：円)

	前期繰越額 ¹	納入 ²	支出 ³	当期差額 ⁴⁽²⁻³⁾	次期繰越額 ¹⁺⁴
次期繰越収支差額	35,116,099	554,143,806	563,632,261	△9,488,455	25,627,644